

高齢者住宅ランキング

(サ付き住宅、分譲マンションなど)

順位	法人名	高齢者住宅棟数	高齢者住宅居室数
1	SOMPO ケアグループ	133	7744
2	学研コリアン	90	4911
3	フジ・アメニティサービス	108	3357
4	中銀グループ	18	3220
5	ヴァティ	92	3011
6	NPO 法人ラ・シャリテ	90	1742
7	やまねメデイカル	67	1677
8	ミサワホームグループ	34	1397
9	パワー・アズアンリミテッド	34	1304
10	ワールドエイジ	25	1121
11	フレサンスコーポレーション	8	1119
12	ツクイ	14	1073
13	東京建物シニアライアサポート	14	1035
14	いっしん	23	948
15	パナソニックエイジフリー	47	940
16	スマートコミュニティ	6	876
17	レイクス21	22	836
18	輝	17	768
19	三英堂商事	18	759
20	積和グラントマスト	19	730
21	シノケンウェルネス	51	658
22	シティインテックスホスピタリティ	2	652
23	ソーシャルライフ	10	638
24	川商	16	620
25	あなぶきメデイカルケア	12	580
26	大和リビングマネジメント	11	571
27	東急イーライフデザイン	6	533
28	明昭	6	494
29	アーバンアークテック	23	483
30	アクティブ・ケア	12	480
31	T.S.I	16	475
32	新日本通産	26	474
33	ジェイ・エス・ピー	9	469
34	日本介護医療センター	11	440
35	ノアコンツェル	10	436
36	ワールドステイ	18	407
37	日清住宅サービス	6	405
38	コミュニティネット	7	404
39	エクセレントケアシステム	18	400
39	三洋介護住宅	10	400

街づくりにサ高住

高齢者住宅研究所の調査によると、2015年7月から2016年6月末までのサ高住の開設棟数は999棟(2万1429室)であったが、2016年7月から2017年6月末までの開設棟数は532棟(1万7313室)と若干鈍化している。建築費の高騰や人材不足など、新設に

は厳しい状況が続いている。1位は総合ランキングと変わらずSOMP(2016年7月)だが、特筆すべきは学研の増加だ。昨年より748室を上乗せしている。新設に加え、石川県の不動産会社クラスコが運営していた5棟を承継。これで石川県内だけでも221室を増加させた。昨年9月には神奈川

は厳しい状況が続いている。1位は総合ランキングと変わらずSOMP(2016年7月)だが、特筆すべきは学研の増加だ。昨年より748室を上乗せしている。新設に加え、石川県の不動産会社クラスコが運営していた5棟を承継。これで石川県内だけでも221室を増加させた。昨年9月には神奈川

サ高住を大きく伸ばしたのは主に大手資本。入居者獲得が厳しかったり、建築費が高騰したりと中堅以下の新設が鈍化している。投資ファンドによる買収など、この1年のトピックスを取り上げる。

学研の増加が突出

全体的に新設は鈍化

デルから、人材社を買収するなど自社運営も強化している。また、ツクイが349室、パナソニックエイジフリーが340室を増やしているが、こうした資本力のある企業以外では自立した新設はない。

ファンド資金が流入

昨年9月、投資ファンドの日本産業推進機構が200億円以上の巨額を投じて買収したSCホールディングス傘下のヴァティ(東京都港区)。2016年度は内部体制強化のため新設を抑えてきたが、今年からは積極展

開モードに。ファンド買収後も佐藤社長ら経営陣が残り引き続き陣頭指揮を執る。

入居者獲得に苦戦していたやまねメデイカル(東京都中央区)も昨年、サ高住に併設された59事業所を切り離し、日本みらいキャピタルに4億円で売却。サ高住の立て直しを図っている。

ランキングには入っていないが、人気物件としてシルバードット(東京都港区)が運営するサ高住「銀木犀」がある。物件の1階に駄菓子屋を作ったり、VRを使った認知症の疑似体験会などを開いたり、風変わった取り組みで一般ステイアに取り上げられる機会も多く、認知度が急速に高まっている。また、物件のデザイン性を評価する声も多い。内装

インテリアに至るまで徹底的にこだわり、一般的な高齢者住宅とは全く異なる空間を作り出している。

ステイアの厳しい目

サ高住は高齢者の住まいの上、補助金を受けられるため一般ステイアなどからの目も厳しい。朝日新聞のサ高住における事故報道など、その他施設と比較して多いわけではなくも関わらず。

しかし、地域との共生、看取り対応など、地域における役割を十分に発揮するサ高住も増えていることは確かだ。業界が団結し、積極的にこうした情報を発信していくことがサ高住の存在価値を高め、高齢者の住まいの多様化に繋がるのではないだろうか。



さまざまな目的がある。だから、
高齢者住宅づくりに決まった答えはない。

特養待機や在宅復帰先などのベッドコントロール機能、

難病対応やターミナルケアの核となる役割など、

高齢者住宅には、さまざまな「運営の目的」があります。

大和ハウス工業 シルバークエスト研究所は、

周辺環境や経営環境、事業性を考慮し、

経営環境に応じた高齢者住宅事業をサポートします。

医療・介護施設の実績 3,014棟*

*2017年6月末現在

医療介護 事業化支援 検索



大和ハウス工業株式会社 (建築事業)

東京本社 建築事業推進部 シルバークエスト研究所 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112
Tel.03-5214-2205 Fax.03-5214-2218
本社 建築事業推進部 シルバークエスト研究所 大阪府北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241
Tel.06-6342-1371 Fax.06-6342-1578
www.daiwahouse.co.jp

撮影協力 大和ハウス工業(株)大和ハウス(株)大和ハウス(株)大和ハウス(株)大和ハウス(株)

見 5F 361

援

40床の有老ホー

援